

県内大学生の 地元就職46%

16年度比、3ポイント減

県会は6日、総務教育、厚生、産業、土木警察の各常任委員会を開いた。総務教育常

任委では、2017年度の県内大学生の地元就職率が46・9%と、16年度比3・3ポイント減だったことを明らかにした。

理事者は17年度の県内大学の就職率は98・7%と過去最高だったとした上で、「就職環境が良く、都会での求人数が増えていることが要因」と地元就職が減っている現状を分析した。

産業常任委では、理事者がテクノポート福井に進出している72社のうち68社が操業していることを説明した。田村康夫委員(県会自民党)は「産業用地が売却されていても、遊休地が目立っているようだ」と指摘。これに対し、理事者は「進出を決めていても、その計画が実現していない企業もある。事情を聴いて転売についても働き掛けていく」と述べた。

(牧野将寛、桂知之、坂下亨)